

第5回（仮称）次期平塚市総合計画策定委員会における意見とその対応

NO.	ページ	該当箇所	内容	対応
意見を受け、2次素案を変更した事項				
1	-	本計画書の構成図	本計画書の構成図の基本計画の章における、「第2章 重点戦略」、「第3章 分野別施策」、「第4章 デジタル化・脱炭素化の取組」の記載と、p.24の「基本計画の構成」にある基本計画の構成図とでイメージが異なっている。	イメージに相違がないように修正しました。
2	10	序論	将来都市構造図の生活拠点形成エリアについて、色味としてはもう少し濃くても良い。	分かりやすくなるよう濃くしました。
3	28～29	基本計画の概要	3本立てとして3つ目にデジタル化・脱炭素化の取組が加わったのであれば、p.28に重点戦略、p.29に分野別施策の説明があるので、その次のページにデジタル化・脱炭素化の取組についての説明が追加される必要がある。	p.29に「（5）デジタル化・脱炭素化の取組」として説明を追加しました。
4	44	重点戦略	重点戦略4の数値目標（重点戦略4-（2）関連）について、立地適正化計画の策定といった市全域を対象とする数値目標でなくとも良いように思える。 市民から状況が見える区域に絞った上で、敷地が共同化され整備されるという情報がつかめるのであれば、そのような数値目標を設定できると良い。	御意見を受け、再調整した結果、立地適正化計画に関連する数値目標「都市機能を維持・誘導する区域内の施設数」としました。なお、注釈として「2024年度策定予定の平塚市立地適正化計画において、医療や商業などの誘導施設を維持・誘導し、効率的なサービスの提供を図る都市機能誘導区域のこと。」を追記し、都市機能誘導区域に絞ったものとなりました。
5	75	分野別施策	教育分野に記載があると高校生がゲーム感覚でやっているというイメージが連想されてしまうので、望ましくないように思える。例えば、健康分野にあると良いように思える。	分野別施策3-への位置付けは変更せずに、体力や年齢に関わらず誰でもスポーツが楽しめる機会を充実することを目指し、取組方針を修正しました。
6	-	全体	デジタル化・脱炭素化の目線から取り組んで、大きく子育てから産業まで横串を刺してこのような取組があると見せることができれば最良である。	基本計画の第4章に、分野の単位で、デジタル化・脱炭素化の取組の方向性（効果）を記載しました。

第5回（仮称）次期平塚市総合計画策定委員会における意見とその対応

NO.	ページ	該当箇所	内容	対応
その他、質問に対する回答等				
7	32～33	重点戦略	今後の結婚支援について、どのようなイメージを持っているのか。	これまでと同様に価値観の押し付けにならないよう、希望を叶える姿勢で取り組むことを基本とし、若い世代が将来の見通しを立てやすくする方策を検討しています。